

2003 年度 委員会活動成果報告

(年 月 日作成)

委員会名	ライフサイクルマネジメント小委員会	主 査 名：小松幸夫
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築経済	委員長名：嘉納成男
設 置 期 間	2001 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	建物の LCM に関する情報収集と調査研究であるが、官公庁その他において建物管理業務を担当するか LCM に関心を持つ委員が集まっているので相互の情報交換も重視している。	
委員構成 (委員名(所属))	有川智(国総研)、石塚義高(明海大学)、伊藤毅(東京大学)、沖塩荘一郎、海野英晴(アール・ディー・メックス)、加藤裕久、小松幸夫(早稲田大学)、白山和久、鈴木晴紀(東京電力)、曾根陽子(日本大学)、高橋暁(建研)、三橋博己(日本大学)、南一誠(郵政公社)、宮部明(NTT 都市開発)、山本康友(東京都)	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>建物管理指針検討 WG (建築設備小委員会/設備経営指針 WG と合同) においては「建物の清掃発注基準」の研究を継続する。</p> <p>「居住の近代性 WG」は一昨年度からの活動を継続し、歴史的、社会的な視点から居住の問題をとらえ直して学際的なパラダイム構築を展開している。</p> <p>都市 L C M W G は、サステナブルシティのあり方および関連する各種の都市政策の評価方法の検討と検証を研究する。</p>	
2003 年度予算	70,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	WG を含め、約 15 回程度 参加は各回 5 ~ 6 名程度
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>小委員会では、私立大学・公立大学に対して施設管理に関するアンケート調査を行った。230 校あまりから回答を得たが、その概要は 2004 年度の研究協議会で報告の予定。</p> <p>建物管理指針 WG では清掃発注基準の研究を継続して実施している。成果は来年度にまとめる予定。</p> <p>居住の近代性 WG は 1 ~ 2 カ月に一度の研究会を継続中で、来年度中には成果を何らかの形でまとめる予定。</p> <p>都市 L C M W G は本年度で研究を終了し、報告書をまとめた。</p> <p>いずれの成果も建物・都市の維持管理において貴重なものとする。都市 L C M W G の報告書は印刷済みであるが、他の成果を含めてホームページは現在のところ開設していないので HP 上での公開は予定なし。</p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>建物管理指針 WG での作業は、内容が予想以上に難しいことが判明したためやや遅れている。他の活動についてはほぼ予定通りに進捗した。</p>

その他評価すべき 事項	
----------------	--